



2020年度 出前講座報告書

NO.7



日時：2020年11月26日 開催場所：県中保健福祉事務所

🌿 テーマ「地域診断の方法（評価・モニタリング編）」

事業の運営には、立案のみならず、効果的な運営になっているのかの評価やモニタリングを行うことも重要です。今回は、地域保健を担う保健医療従事者に求められる事業の評価・モニタリングに関する基本的な知識と技術について講義・演習を通して学びました。



🌿 講義の様子



講義では、事業計画に必要な知識、事業のモニタリング・評価について学びました。事業計画の際には、問題を整理・分析し、原因と結果を分けて考えることの重要性を確認しました。また、講師はモニタリングや振り返りを日々の業務に追われて忘れることのないように、目につく所に書いておくなど、事業を進める上でのコツについて心がけていることも共有されました。

🌿 講師紹介



医療創生大学 看護学部看護学科
公衆衛生看護学 准教授
吉田 和樹

- 略歴：福島県立医科大学大学院医学研究科博士課程修了。保健師・大学教員を経験。2020年4月から現職。
- 専門領域：母子保健（特に父親の育児）、高齢者保健、国際保健（カンボジアの子どもを対象とした健康教育）

🍃 演習の様子

演習では、普段、事業を評価する上で心がけていることについて書き出してもらいました。数名に発表していただいたあとに、評価の基本方針、評価の視点、キーワード、事業の成果・特徴を分かりやすく伝えるための工夫点を学びました。



🍃 アンケート集計結果

参加者は24名、アンケート回収は21名でした。

評価項目	そう思う*
研修の資料や進行について ● 配布資料は適切だった ● 時間配分は適切だった ● 進行は適切だった	95% 100% 100%
講義について ● 講義内容が理解できた ● 講義は今後の保健活動に役立つと思う ● 学んだことを同僚に伝えたいと思う	95% 95% 86%
演習について ● 演習は今後の保健活動に役立つと思う	86%
あなたご自身について ● 研修を受ける前よりも、保健活動に対する自信が増したと思う ● 研修を受ける前よりも、健康に関して住民と話し合う自信が増したと思う	48% 57%

*5段階評価：「1.全くそう思わない」～「5.大いにそう思う」の4と5の合計

参加者の声（一部抜粋）

■ 日頃、評価というと忙しくてできない！と思っていましたが、今回、ポイントを学ぶことができたので、少しやってみようかなと思いました。

■ 地域診断について深く学ぶことがこれまであまりなかったので勉強になりました。本日学んだことを意識して活動をしたいと思います。

復習ポイント

主な評価の視点・キーワード

- ✓ 必要
- ✓ 妥当
- ✓ 有効 等

事業成果・特徴を伝えるために

- ✓ 伝える目的・内容
- ✓ 伝え方

